



高崎市議会



SHINPU KAIHO

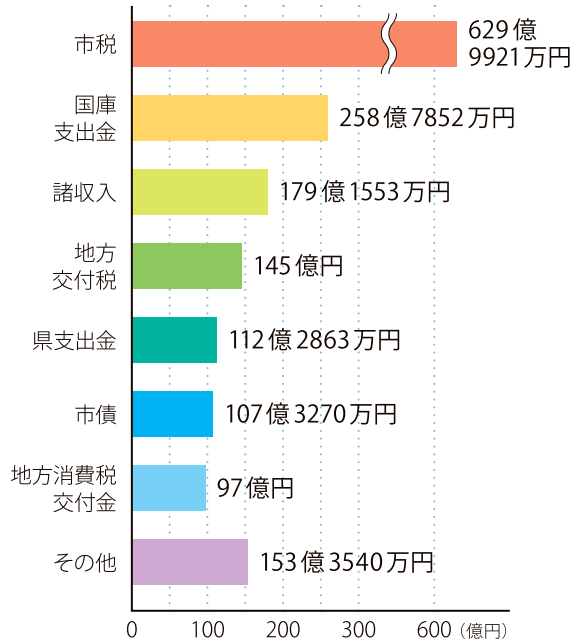
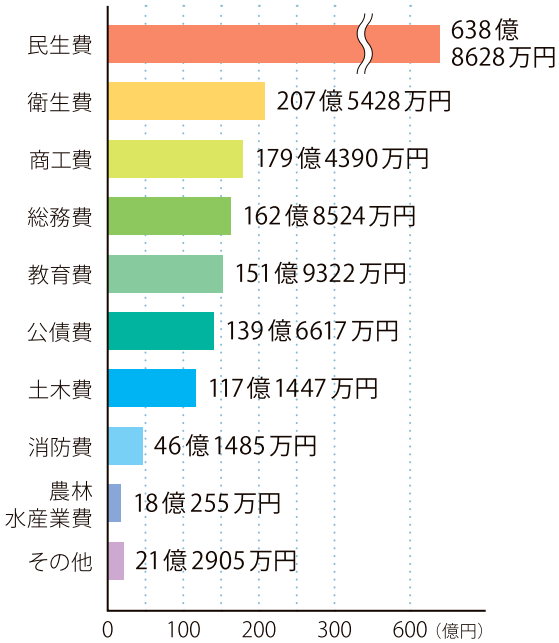
令和6年春号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpuikai.com/

一般会計

歳出総額 1682億9000万円
(前年度比 +1.3%)

歳入総額 1682億9000万円
(前年度比 +1.3%)



人口: 36万7,861人 世帯数: 17万1,789世帯 (令和5年12月31日現在)

主な新規・拡大事業

単位:千円

Table with 2 columns of items and their costs. Items include medical care support, school counselors, school food support, etc.

3月定例会のご報告

令和6年度予算を可決

2月22日から3月18日まで、令和6年第1回定例会が開催されました。政方針が示され、これに...

して各会派から総括質疑が行われました。審議においては、新年度予算、令和5年度補正予算をはじめとする議案67件が上程され、全て原案のとおり可決・同意されました。そのほか、報告2件、承認2件...

新風会からのごあいさつ

令和6年は元日に能登半島で震度7の大地震が起こりました。大きな衝撃でした。誰も予想していなかったことではないでしょうか。...

しかし、このような時にこそ、改めて、私たち一人一人が、いつ起こるか分からない災害に対する備えは万全であるか、見直さなければならぬのではないのでしょうか。...

総括質疑



長壁 真樹

長壁真樹議員が令和6年度予算および諸施策について、新風会を代表して総括質疑を行いました。質疑のテーマは次のとおりです。

- 1. 令和6年度当初予算について
2. 教育と人づくりについて
3. 産業の振興について
4. 文化と歴史を活かした創造的な高崎について
5. やさしい眼差しに満ちた市政について
6. 合併した地域の個性を活かした魅力づくりについて

副市長に兵藤公保氏再任
議案第61号
副市長に兵藤公保氏再任
議案第62号
副市長に曾根光広氏新任 (前総務部長)

- 7. 能登半島地震を踏まえた災害対策の強化について
8. 安心・安全な地域社会づくりについて
9. 大勢の人が歩き、賑わう街について

以上の質疑に対して富岡市長が答弁しました。質疑と答弁の様子は次のページから映像でご覧いただけます。スマートフォンやパソコンでご覧ください。



総括質疑全文

賛成討論



樋口 哲郎

本定例会で上程された令和6年度高崎市一般会計予算など50議案に対して、新風会を代表して樋口哲郎議員が賛成討論を行いました。その結果、全議案について可決・同意となりました。

能登半島地震を受け防災強化対策を予算化 新たに女性を中心に組織された防災安全2課を新設

今年発生した能登半島地震を受けて、本市においても地震災害等の様々な自然災害が起る可能性が考えられることから、不測の事態に備えるため、令和6年度予算に総額1億4,025万円の防災対策予算案を盛り込み、今定例会で可決されました。さらに、災害時における女性や高齢者、また障害者等への支援の強化を図るため「防災安全2課」を新設する運びとなりました。災害時における様々なニーズをくみ取り、備蓄や避難所の運営改善に取り組み予定です。今後、新風会としても本市防災への取り組みの強化に向けて取り組んでまいります。防災強化対策に関する事業概要については以下の通りです。

■ 避難所用スポットクーラー	10台	700万円
■ 「移動式電源車」として活用する電気自動車(PHEV)	3台	2,100万円
■ 災害対策用給水車	2台	5,500万円
■ 車いす対応型の移動式トイレトレーラー	2台	3,000万円
■ 災害救助用ボート	10艇	1,000万円
■ 水道応急復旧対策車	1台	1,725万円



※画像はいずれもイメージです



上野三碑めぐりバスの

停留所が増えました

ユネスコ世界の記憶である多胡碑、山上碑、金井沢碑を巡る「上野三碑めぐりバス」に3月1日から「山名古墳群」と「馬庭公民館」の停留所が増設されました。山名古墳群は6世紀中頃～7世紀前半につくられ、前方後円墳である山名伊勢塚古墳を含む合計17基の古墳からなる高崎市の指定文化財です。バス停設置に先駆け、2月下旬には地元「山上碑・金井沢碑を愛する会」の協力のもと、各古墳の名称を記した標柱が設置されました。ぜひこの機会に山名古墳群にも出かけください。

タゴフェス 総合グランプリはFoxtrot

TAGO STUDIO TAKASAKI MUSIC FESTIVAL 2024が3月16・17日に開催されました。アマチュアミュージシャン対象のオーディションには全国から18組が出場し、シンガー・ソングライター部門は群馬県立女子大3年の杏子さん、バンド部門はFoxtrotが優勝しました。高崎市発のアーティストとして応援をお願いします。17日にはASIAN KUNG-FU GENERATIONがスペシャルライブを行ったほか、2019年最優秀賞者のKIE Andersonさんが演奏しました。



この常設型の排水ポンプは、新町と吉井町中島に続く市内3か所目で、吉井町吉井での建設も進んでいます。



津町では排水施設の完成記念式典が開催されました。この排水施設は大雨に伴う河川の上昇により、河川に排出されなくなった雨水を強制的に排出するもので、内水氾濫を軽減させる目的があります。設置されたポンプは2基で、25mプールの水を約10分で排出できる能力があります。

阿久津町に 緊急排水ポンプを設置



本市では、高齢者など移動に困難を抱える交通弱者のため、事前登録や予約不要でルート上ならどこでも乗り降り自由、料金無料のおとしよりぐるりんタクシーを13ルートで運行して

おとしよりぐるりんタクシー 新たに新町ルート創設!

います。令和2年6月から始まったこの事業は、既に運行している地域では、着実に地域の方々に浸透し、日常生活の足として利用が進んできています。このたび、新たなルートを新町に創設することになりました。国道17号とJR高崎線により地域が分断されているため、おおむね北と南の2ルートとなります。新たなルート創設に当たっては、地元区長さん方などの意見をできる限り聞きながら設定し、市民に寄り添った利便性の高い運行に努めるとのことです。



群馬県の文化財保護審議会により、本市の「八幡八幡宮」が県重要文化財に指定されました。本市八幡町の「八幡八幡宮」は、上野国一社八幡宮とも称され古くから武家の守り神として地元住民の皆さんからも崇敬を集めてきま

「八幡八幡宮」県重要文化財指定へ

した。今回、重要文化財に指定されることになった本殿や拝殿、幣殿などは、17世紀後半から19世紀前期頃の9つの建造物が一体的に保存され、神社建築における装飾の過程が示されているとして高く評価されました。



一般質問

執：執行部答弁 議：議員発言

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

録画配信 全文掲載



http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp

議 市として個別避難計画の作成が進むための方法を研究してほしい。

議 避難行動要支援者名簿の作成とその活用状況は。 執 避難行動要支援者名簿は、要支援者への支援策の一つとして、災害対策基本法に基づき作成して毎年更新している。この名簿のうち、支援者に対して情報の提供に同意した人の名簿のみ、避難支援などに活用するために町内会や消防、警察、民生委員などと共有している。今後は町内会や関係部局と連携しながら、要支援者の個別避難計画の作成が進められるようにしていく。

議 大規模災害時における各種団体との連携状況は。 執 本市では160を超える団体と災害発生時における応援協定を締結している。具体的には、食料や飲料水の提供、衣類やトイレなど生活必需品の提供、更には物資輸送や医療救護活動、ライフライン復旧など様々な項目について協力体制を構築している。引き続き、災害時のために応援協定の締結を進めていく。



大河原 吉明



松本 賢一

議 新町地域に導入することになった経緯は。おとしよりぐるりんタクシーの新町ルートについて

執 本市では交通弱者の移動手段確保のため、事前登録や予約不要でルート上ならどこでも乗り降り自由、料金無料のおとしよりぐるりんタクシーを順次導入している。新町は高齢化率や70歳以上人口に占める一人暮らし高齢者の割合が高く、高齢者が住む団地や住宅からバス停まで遠いことや、地域から熱心な要望もあつたため新規ルートとして選定した。

議 ルート設定のポイントと利便性の向上の取組は。

執 地元区長さんたちの意見を可能な限り聞き、スーパーや店舗、医療機関、既存のバス路線から遠い住宅地を回り、バス停や新町駅に接続し、外出の機会の増加にもつなげたい。現在でも運行を担っているタクシー協議会と情報共有の場を設けて、利用者に寄り添った運行に努めている。

議 住民へのお知らせは。

執 広報高崎への掲載のほか長寿会、サロン等の集まりに職員が出向き説明する。運行開始後は試乗会も行いたい。



渡辺 幹治

本市の児童・生徒に対する安全教育と対策について

議 車社会の現代において、交通事故により毎年多くの尊い命が失われているが、子どもたちに対する学校での交通安全教育と対策について伺う。

執 小学校においては、多くの子どもが自転車に乗り始める3年生のときに和田橋交通公園で自転車交通教室を実施し、実技訓練を通じて自転車の正しい乗り方や交通ルールの学習を行っている。中学校では入学時に警察や交通安全協会等により、交通安全指導の徹底を図っている。

議 子どもたちの登下校時および在校時に、地震などの大きな自然災害が発生した場合の防災対応と、子どもたちに対する身を守るための教育はどうなっているのか。

執 東日本大震災の教訓から、本市では各学校において自然災害や火災等を想定し、防災安全課や消防署等の関係機関と連携した防災教育を行い、保護者と連携した引き渡し訓練や地域の自主防災組織との協働訓練なども行っている。



後閑 賢二

堤ヶ岡飛行場跡地の有効活用への取り組みと今後の進め方について

議 農林調整とは。

執 開発の前提となる市街化調整区域の編入に向けて、最先端技術を用いたまちづくりの必要性や、規模・候補地の妥当性、農地への影響などの資料を基に、国の関東農政局との協議を行っている。

議 目指すまちづくりの方針は。

執 先端情報技術を有する企業等が集積する地域、DXを活用した地域、再生可能エネルギーを活用したサステイナブルな地域、この3つのコンセプトを基本としていく。

議 進出企業誘致への行動計画は。

執 昨年11月に市長自ら訪米した成果を今後の企業誘致に生かすとともに、県知事にも積極的なトップセールスを行っていただいているので、県と協力しながら、優良企業の誘致を図っていく。

議 今後、地元への説明は。

執 令和6年度からは、地元区長をはじめ、地権者に基本的なまちづくりの構想や進め方の説明に入る予定である。



長壁 真樹

道路愛護活動について

議 道路愛護の実績、保険対応について。

執 各支所、年2回、約4万5千人、1304kmの環境美化活動を実施、草刈機等の借上げ料等支援。

議 地域により内容に大きな差があり地域の実態に見合った助成を、今後も保険対応し安心して活動できるように、また活動が困難となつている箇所については業者委託も検討していただきたい。

議 高浜クリーンセンター建設事業について

議 進捗率と切替えのタイミング、環境学習の取組み、解体について。

執 令和5年度末で80%の進捗率、令和6年10月頃から試運転を開始、令和7年1月から全ての処理品目を受入れ開始、2月に本稼働、環境への関心、理解を深める学習機能を備えた「ひらかれた体験型施設」として整備、令和6・7年に解体設計と土壌検査等の環境調査を実施、その後解体工事となり、野球場や温水プール等整備予定。

議 切替え時に混乱が起きぬよう、北側竹藪の整備、北部地域の西毛広幹道からの搬入経路とし混雑緩和に努めてほしい。



高橋 淳

災害発生時における早期復旧に向けた対策状況について

議 下水道管やマンホールの耐震対策は。

執 地質調査により土質や地下水位を調査し、下水道設計指針に基づく耐震設計を行っている。マンホールと管渠の接続部に可とう性のある継ぎ手を使った抜け防止対策や、排水性に優れた砕石で埋め戻せるリブ付硬質塩化ビニール管を採用している。

議 住宅の耐震化に向けた取組みは。

執 市内の住宅の耐震化率は88.4%で、耐震化が未実施の住宅は推計値で1万9千戸程度(令和5年1月1日現在)と見込む。旧耐震基準により建設された住宅を地震による倒壊から防ぐため、緊急耐震対策事業がある。耐震診断をはじめ、耐震補強設計や耐震改修工事、屋根の耐震改修、ブロック塀の改修または除去、擁壁の改修を行う7種類の制度があり、費用の一部を助成している。

議 業務効率の向上のためにDXを取り入れることが災害時の早期復旧にもつながる。平時の利活用を意識した防災の備えを行ってほしい。



白石 隆夫

本市で開設予定の児童相談所について

議 本市が中核市として児童相談所の開設を決めた意義についてはどうか。

執 高崎のこどもを高崎で守る体制を整えるため、いち早く、そして本市独自の「行動する児童相談所」の設置を決めた。子どもへの命の最後の砦となる大きな責務を本市が一貫して担うことを決意したものであり、とても意義のあることだと認識している。

議 児童相談所の役割と現状における問題点、課題については。

執 現状では施設数にも限りがあり、入所の必要性を見極め、調整しながら入所措置を行っている。保護者と暮らせない、本市の子どもたち一人一人が、より望ましい養育環境で過ごすことができよう、児童養護施設や乳児院、里親家庭など多くの選択肢を用意する必要はあるものと考えている。

議 児童相談所の建設予定地は、JR高崎問屋町駅の前である。児童相談所への大きな期待と、何よりここで過ごす子どもたちに安心して快適に生活してほしいと思う。



青木 和也

人・農地プランと地域計画について

議 人・農地プランと地域計画の違いは。

執 農業経営基盤強化促進法等の改正により、今までの人・農地プランを、令和7年3月までに法定化された地域計画として策定することになった。地域計画は、現在の農地の利用状況を示した現況地図を基に、10年後の農地の利用者を記した目標地図を含め、地域農業の将来の在り方を示した計画を作成し、関係者からの意見聴取や公告・縦覧等の手続きを経て策定される。

議 地域計画の策定はどのように進むのか。

執 現在、本市では一定規模の農地を所有している、または耕作している農業者に対して、10年後の耕作の意向や規模拡大等の意向について、農地一筆ごとに確認する調査を実施し、その把握に努めている。令和7年3月までに策定する必要があるので、新年度に開催予定の人・農地プランの話合いの場で、地域計画策定に必要となる一筆ごとの現在の利用状況を記した現況地図等をお示しできるよう準備を進める。



渡辺 隆宏

滝川地区の下水道整備について

議 滝川地区の下水道整備の現状と今後の進捗について。

執 令和5年度は、中島団地南側において約100メートル整備している。整備については、住民の皆様要望に十分配慮しながら、地域の実情に合わせて、令和6年度以降も引続き実施をする予定。

議 中島町の現状と下水道整備について。

執 現在、中島団地の生活雑排水は、団地内の管理組合による集中浄化槽での汚水処理となっている。令和6年度に、団地内の集中浄化槽の流入付近まで整備する予定となっている。公共下水道へ接続となると、管理組合での集中浄化槽の維持管理が不要となる。

議 今後の整備について、住民の皆さんの生活同線の確保にも努めていただき、安全にかつ速やかに整備してほしい。中島団地は、いづれ管理組合での集中浄化槽の維持管理が必要となる。その跡地については、是非有効的な活用方法を地元住民の皆さんの意見を反映した形で検討してほしい。

堤ヶ岡飛行場跡地の活用プロジェクトが発進！

～活用に向けた調整が始まる～



コラム

会派要望と富岡賢治市長の決断

堤ヶ岡飛行場跡地の活用は、地元で暮らす市民の長年の念願であり、大きな夢であった。そして、これまで新風会議員の一般質問で度々取り上げてきた。また、毎年、市長あてに提出している新風会の次年度予算・施策要望の柱にも位置づけて推進を要望してきた。

このたび、市民と共に躍進する高崎づくりを目指す富岡賢治市長の決断により、本市最大のプロジェクトとして壮大な計画が発進した。

世界トップレベルのスマートシティを目指す！ 高崎市と群馬県の共同で

堤ヶ岡飛行場跡地の活用については、高崎市から開発構想を群馬県に提案し、議論を重ねてきた。昨年3月、富岡市長・山本知事の合同記者会見を開き、世界トップレベルのスマートシティを目指したまちづくりを進めていくことを公表した。その後、11月に市長は県知事と共に、先進地事例調査のためアメリカ・シリコンバレーへの視察を行った。

早期実現に向けて、新風会も一丸となって研究し、また、国会議員への陳情等にも取り組んでいる。

県央部、絶好の立地条件！

ここは群馬の県央部にあり、本市の中心市街地の田町から中央通りを経て高崎・渋川線バイパスで一直線に結ばれ、さらには群馬県庁から富岡市をつなぎ、この東西を貫く西毛広域幹線道路の整備が進み、全線の開通が見えてきた。

絶好の立地条件にあるといえるこの堤ヶ岡飛行場跡地が必要とされる時が来た。



どんな場所だったの？そして現状は？

今から80年前、太平洋戦争で敗戦が濃厚となってきた昭和18年、突如として、農家の家屋や田畑が接収され、特攻隊員養成の陸軍前橋(堤ヶ岡)飛行場が建設された。そして第一陣が編成され、35名の若き隊員が沖縄戦へと出撃し、帰らぬ人となったとのことだ。その後日本は敗戦し、昭和20年8月15日に終戦を迎えた。

今度は飢餓に苦しむ国民の救済のため、飛行場跡は即、開田整備されたが、箕郷地域の鳴沢湖からの中部用水では水が足りず、水争い騒動も起こった。しかし、昭和30年代には利根川の水を引いた中群馬用水が完成し、稲作は盛んになり一時期は数千俵もの米の出荷があり、食糧増産の一翼を担ってきた。しかし、高度経済成長で工業化が進む中、農家の働き手が都会へと出てしまい、「3ちゃん農業」と言われる兼業化が一気に進んだ。

昭和50年、当時の群馬町は都市計画法の下で、市街化区域と市街化調整区域に線引きを行い、市街化調整区域となった堤ヶ岡飛行場跡地のいわゆる「飛行場田んぼ」は、農業振興の立場から「農振区域」に指定された。しかし、その後の「飛行場田んぼ」は農業経営の近代化や大型化政策である「農業構造改善事業」も着手されず、区画の狭いままの「1反田んぼ」のまま今日に至った。

地元農家がかんがり守り抜いてきた「飛行場田んぼ」も、現在は農家の高齢化が進み、相続などで地権者の分散が加速し、不耕作の水田が急増している。

約170haあった飛行場面積も高度経済成長下で開発が進み、群馬工業高等専門学校、菅谷工業団地、グランレーブ千年台住宅団地、中央第二土地区画整理事業へと利用が進み、区画整理区域へはイオンモール高崎の進出もあり、現在残された水田面積は半分以下の66haほどとなっている。

跡地利用 3つのコンセプト

1. 先端情報技術を有する企業等が集積する地域
2. DXを活用した地域
3. 再エネを活用したサステナブルな地域



新風会所属議員一覧 ～市政に関するご相談はお近くの議員まで～

 会長 柴田 和正 しばた かずまさ 高崎市金井淵町259 ☎027-343-7161	 副会長 石川 徹 いしかわ とおる 高崎市箕郷町東明屋106-1 ☎027-371-3344	 幹事長 白石 隆夫 しらいし たかお 高崎市石原町4049 ☎090-3234-0748	 副幹事長 樋口 哲郎 ひぐち てつろう 高崎市吉井町馬庭827-1 ☎090-3245-0195	 政調会長 根岸 赴夫 ねぎし ゆきお 高崎市上中居町407-5 ☎027-326-0635
 議会対策委員長 後藤 彰 ごとう あきら 高崎市乗附町1563-27 ☎027-328-5100	 会計 大河原 吉明 おおかわら よしあき 高崎市京目町1634-6 ☎090-9385-8680	 広報 松本 賢一 まつもと けんいち 高崎市新町1652-5 ☎090-6033-8421	 会計監査 後閑 賢二 ごかん けんじ 高崎市塚田町222-2 ☎027-373-2214	 顧問 丸山 和久 まるやま かずひさ 高崎市江木町1111-1 ☎027-323-8855
 柄沢 高男 からさわ たかお 高崎市上里見町197 ☎027-374-4304	 渡辺 幹治 わたなべ かんじ 高崎市倉賀野町1684 ☎027-346-6133	 長壁 真樹 おさかべ しんじ 高崎市中室田町甲525 ☎027-374-3384	 高崎市議会副議長 大竹 隆一 おおたけ りゅういち 高崎市吉井町片山895-2 ☎027-387-4390	 青柳 隆 あおやぎ たかし 高崎市箕郷町下芝594-1 ☎027-371-2870
 高崎市議会議長 時田 裕之 ときた ひろゆき 高崎市浜川町 ☎090-4948-4450	 青木 和也 あおき かずや 高崎市福島町740-7 ☎090-5442-8248	 渡辺 隆宏 わたなべ たかひろ 高崎山下齊田町 ☎070-3784-9871	 高橋 淳 たかはし じゅん 高崎市山名町492-1 ☎090-9019-7800	高崎市議会 新風会 〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1 新風会ホームページ http://www.shinpuikai.com/

